

令和 7 年 監 査 公 表 第 1 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 1 項の規定に基づき実施した学校監査（大野北小学校・御笠の森小学校・月の浦小学校・大野中学校）の結果を同条第 9 項の規定により公表する。

令和 7 年 2 月 28 日

大野城市監査委員 中 村 明 彦

大野城市監査委員 大 塚 みどり

学校監査の結果報告について

地方自治法第 199 条第 1 項の規定に基づき学校監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果を報告する。

記

1. 監査の概要

(1) 監査の対象

① 対象校

大野北小学校、御笠の森小学校、月の浦小学校、大野中学校

② 所管課

教育政策課、教育振興課、教育支援課

(2) 監査の範囲

令和 6 年度（一部は令和 5 年度）における事務の執行、事業の管理、及び関係法令・例規等に基づく処理

(3) 監査の期間

令和 6 年 11 月 15 日（金）から令和 7 年 2 月 28 日（金）まで

- ・ 令和 7 年 1 月 9 日（木）現地調査（監査対象 4 校）
- ・ 令和 7 年 1 月 16 日（木）教育委員会事前ヒアリング、学校監査に関する協議
- ・ 令和 7 年 1 月 20 日（月）本監査（大野北小学校、御笠の森小学校）
- ・ 令和 7 年 1 月 21 日（火）本監査（月の浦小学校、大野中学校）
- ・ 令和 7 年 2 月 28 日（金）講評

(4) 監査の方法

監査の対象校から令和 6 年 10 月末における令和 6 年度予算の執行状況及び事業の成果等について、あらかじめ次の【監査資料】の提出を受け、計数の正確性及び内容の検討を含めて監査した。

監査に当たっては、教育委員会に対して、予算の配当や執行方法等の基本的な手続きに関する事前ヒアリングを行った上で、提出された【監査資料】を基に【調査事項】を提示し、教育委員会の所管課職員の出席のもと、各学校の関係職員から関係事務文書等の監査並びに事情聴取等を実施した。また、文書や備品の管理状況等についても事前に現地調査を行い、郵券類についても併せて実査を行った。

【監査資料】

- ①令和6年度学校要覧
- ②職員担当業務一覧表
- ③校務分掌表
- ④職員数調べ
- ⑤主な行事の成果及び実績調べ
- ⑥歳出予算執行状況調べ
- ⑦備品購入一覧表
- ⑧公有財産調べ（土地・建物）
- ⑨工事台帳
- ⑩警備及び防火計画
- ⑪食糧費に関する調べ
- ⑫施設及び設備の管理簿
- ⑬児童生徒就学援助（学校長経由分）の関係書類
- ⑭ふるさと創生学校じまん事業における補助金等の関係書類（令和5年度分）

【調査事項】

- ①学校の概要及び「主要な行事の成果及び実績」
- ②ふるさと創生学校じまん事業（令和5年度分）
- ③令和6年度配当予算執行状況
- ④施設及び設備の管理簿
- ⑤警備及び防火計画
- ⑥文書の収受及び発送（文書発収簿、公印使用簿）
- ⑦郵券類受払
- ⑧児童生徒就学援助（学校長経由分）
- ⑨備品検査（備品台帳との確認）

2. 監査の結果

対象校から調査事項に関して説明を受け、関係書類により内容を監査した結果、各学校の財務に関する事務の執行に関しては、予算や法令等に則り、おおむね適正に執行されていると認められた。

今回の監査結果に関して、後日、措置状況の報告を求める特段の重要な事項はないが、次の2件については、教育委員会と学校が連携し、事務の改善を図られたい。

- ①「ふるさと創生学校じまん事業」補助金について、補助対象者である『実行委員会』の実態が、いずれの学校も確認できなかった。
- ②文書の管理状況について監査した限りにおいて、各学校の公文書の管理状況をみると、文書の保存方法などが各学校で統一されていなかった。

3. むすび

今回の学校監査に当たっては、対象校の校長をはじめ、教職員、事務職員、並びに教育委員会の関係職員の多大なる協力により、円滑な監査が実施できた。

また、各学校とも「教育目標」を掲げ、その達成に向けた構想や体制により、学校の伝統や地域性を活かした特色ある教育活動、地域との連携など着実な取組が確認できた。

特に、「ふるさと創生学校じまん事業」では、学校が当該事業を通じて地域との関わりや連携を強める有効な手段として、市の補助金が効果的に活用されていることが確認できた。

一方で、昨年度の学校監査に引き続き、補助金の交付先である実行委員会について、会則や構成員など、組織の実態を具体的に確認することができなかった。

また、文書事務においても、昨年度同様に各学校で統一した公文書の文書管理が確認できなかった。

教育委員会においては、各学校における補助金等の執行状況や公文書の管理状況を含め、学校現場の状況を適切に把握するとともに、より一層の適正な事務の執行に向けて、引き続き学校との連携強化を図られたい。

今後も、未来を担う子どもたちが心豊かに育つ教育や、学校と地域と行政の共働による教育の推進に向けた先生方の取組に期待する。